

株式会社ラクーン

2012年4月期第4四半期

決算説明資料

(2011年5月～2012年4月)

証券コード 3031/東証マザーズ

当資料に記載されている意見や予測は、当資料作成時点における当社の判断に基づき作成されております。様々な状況や環境の変化により実際の判断や結果が異なる可能性があります。

2012年4月期について

連結業績

売上高	9,101,477千円(前年同期比13.0%増加)
営業利益	140,419千円(前年同期比12.0%増加)
経常利益	133,318千円(前年同期比14.1%増加)
当期純利益	109,980千円(前年同期比 31.6%減少)

● 売上成長率が上昇傾向

- EC事業「スーパーデリバリー」の売上高が堅調。
購入客数、客単価の向上により、商品売上高が増加したことが全体の売上高を牽引。

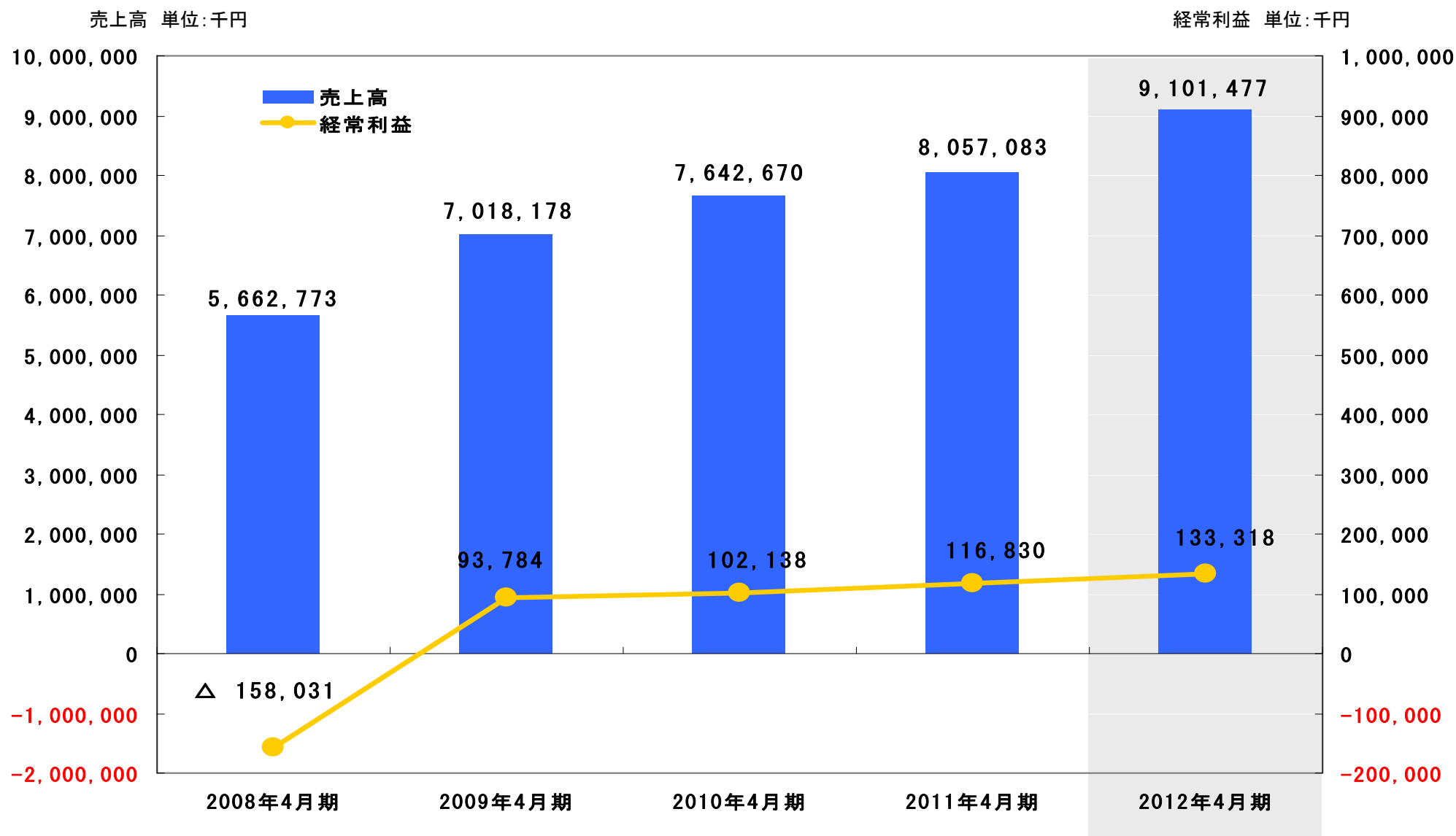
● 利益の増加

- 新規事業「Paid」のサービス提供開始にともない、新規事業の開発にかかる人材、システム、広告宣伝費に一定の先行投資が発生したものの、先行投資を除いた販売費及び一般管理費は堅調に推移。

● その他

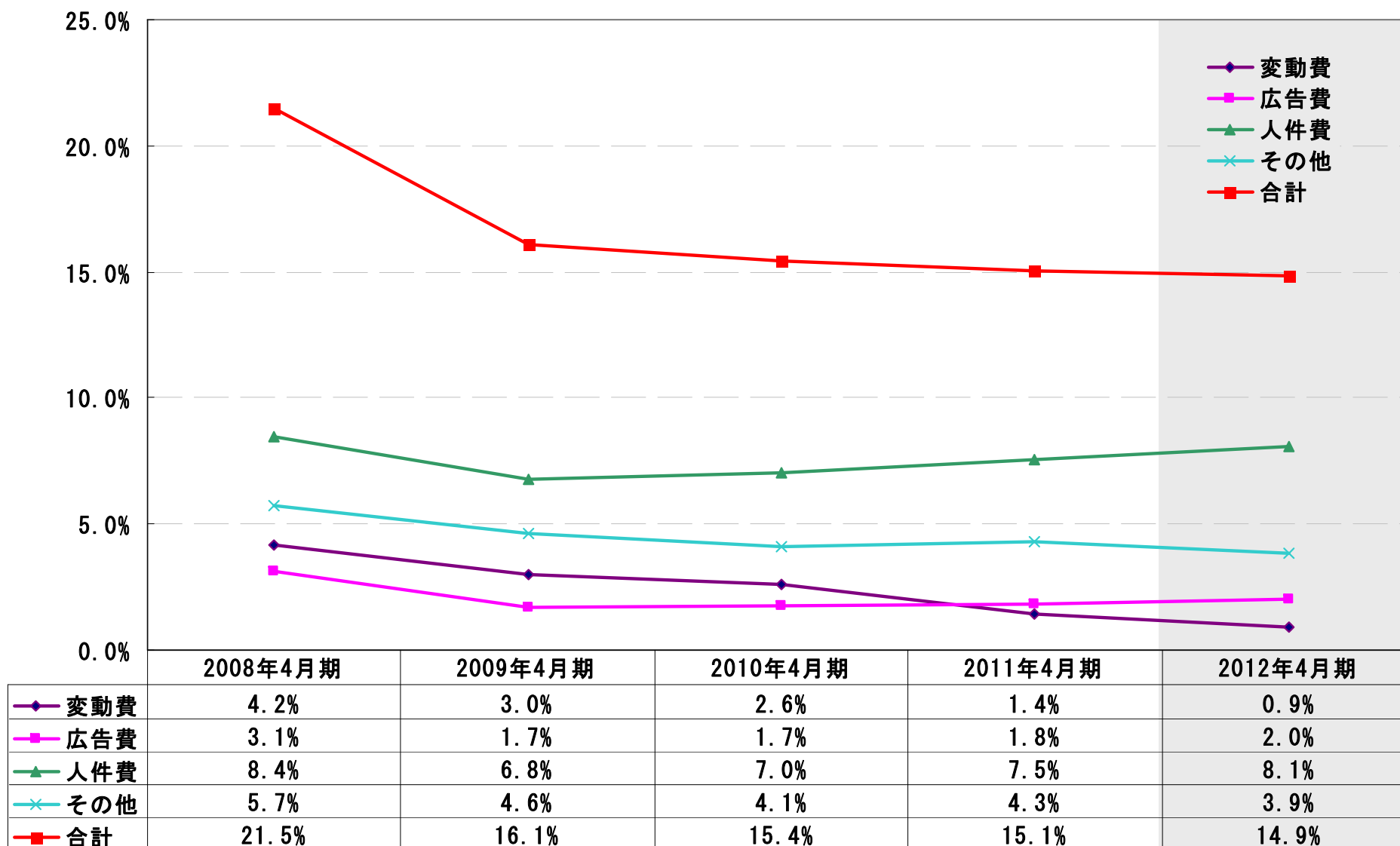
- 当期純利益の前年同期比減少について。前期は新規に取得した子会社に関連した繰延税金資産116,111百万円の計上があったが、当期は特にイレギュラー事項がなかったため。

売上高・経常利益推移



※2011年4月期第3四半期より連結に移行したため、2011年4月期より連結数値、それ以前は個別数値となっております。

販売費及び一般管理費の売上比率



※2011年4月期第3四半期より連結に移行したため、2011年4月期より連結数値、それ以前は個別数値となっております。

貸借対照表サマリー

単位:千円

	2012年4月期	対前年期末 増減比	2011年4月期
流動資産	2,271,391	-2.3%	2,325,652
固定資産	357,450	+7.5%	332,576
流動負債	1,155,974	0.8%	1,146,322
固定負債	245,667	-35.3%	379,941
純資産	1,227,198	+8.4%	1,131,964
総資産	2,628,841	-1.1%	2,658,228

流動資産・・・取引の増加に伴い売掛金が増加。一方で短期借入金及び長期借入金の返済等により現金及び預金が増加

固定資産・・・ソフトウェアとソフトウェア仮勘定が20,863千円増加

固定負債・・・長期借入金の減少

純資産・・・当期純利益109,980千円の計上により利益剰余金が増加。

キャッシュ・フローサマリー

単位: 千円

	2012年4月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 250,081
現金及び現金同等物の増減額	△ 236,278
現金及び現金同等物の期末残高	834,726

営業活動によるキャッシュ・フロー……税金等調整前当期純利益131,227千円計上

投資活動によるキャッシュ・フロー……ソフトウェア開発及びソフトウェア購入による無形固定資産の
取得のための支出74,990千円の計上

財務活動によるキャッシュ・フロー……長期借入金及び短期借入金の返済による支出265,734千円計上

2012年4月期・・・セグメント別概要

EC事業

売上高 8,908,528千円(前年同期比11.3%増加)
セグメント利益 94,190千円(前年同期比17.5%増加)

【スーパーデリバリー】

商品売上高の増加 8,318,029千円(前年同期比12.3%)

● 前期に引き上げた審査基準の継続適用により、質の高い「会員小売店」及び「出展企業」の獲得に取り組む

→ 取り組み2年目となり、審査基準切り替えによる一時的な落ち込みが一段落し、「会員小売店」、「出展企業」ともに堅調に増加。会員小売店は、従来からの集客手段に加え、「出展企業」からの紹介による登録もプラス要因に

→ 「出展企業」の増加により、小売店のニーズに適合した商材の掲載割合の増加

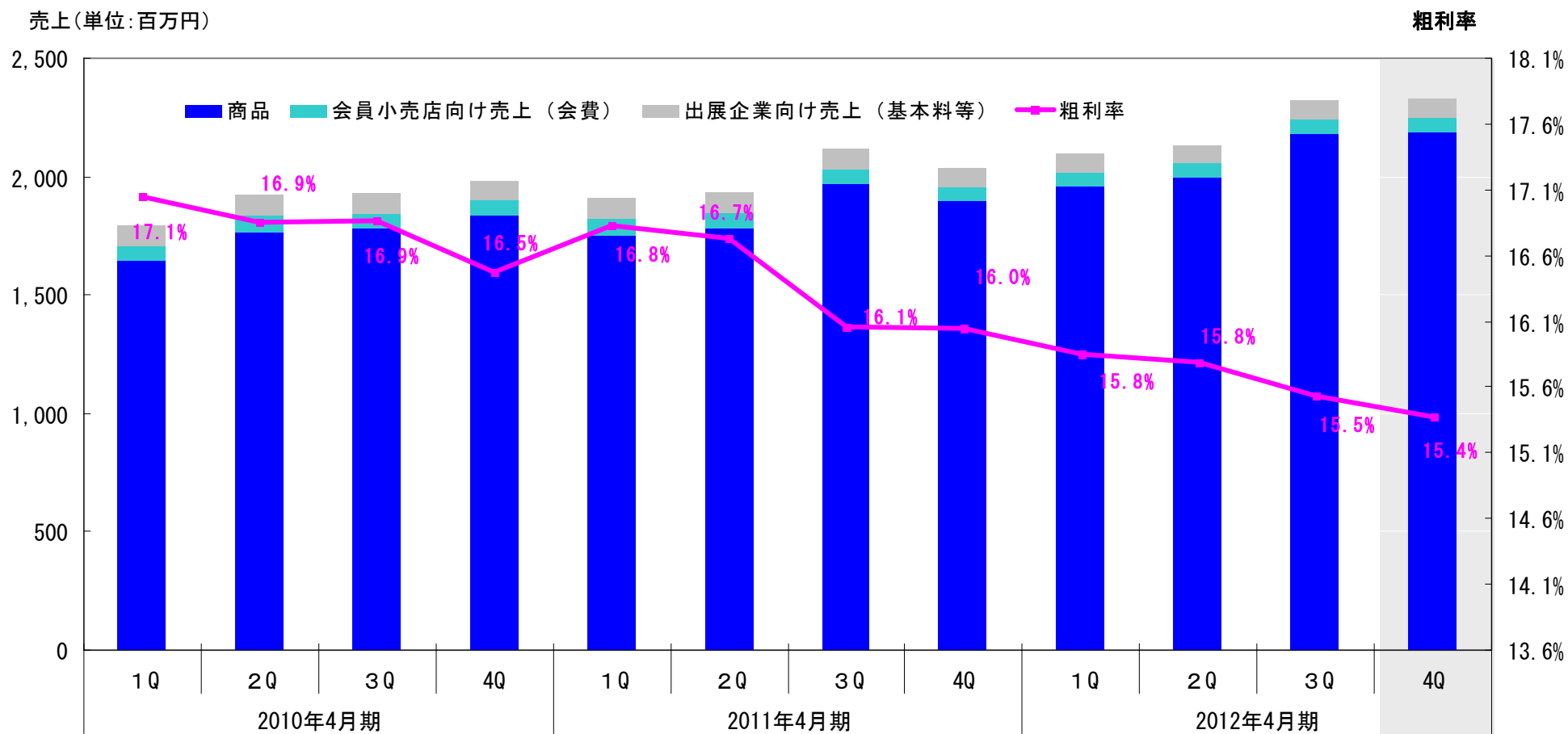
● サイトの利便性の向上を図る施策の実施

【Paid】

● 知名度の向上及び加盟企業とPaidメンバーの獲得に注力

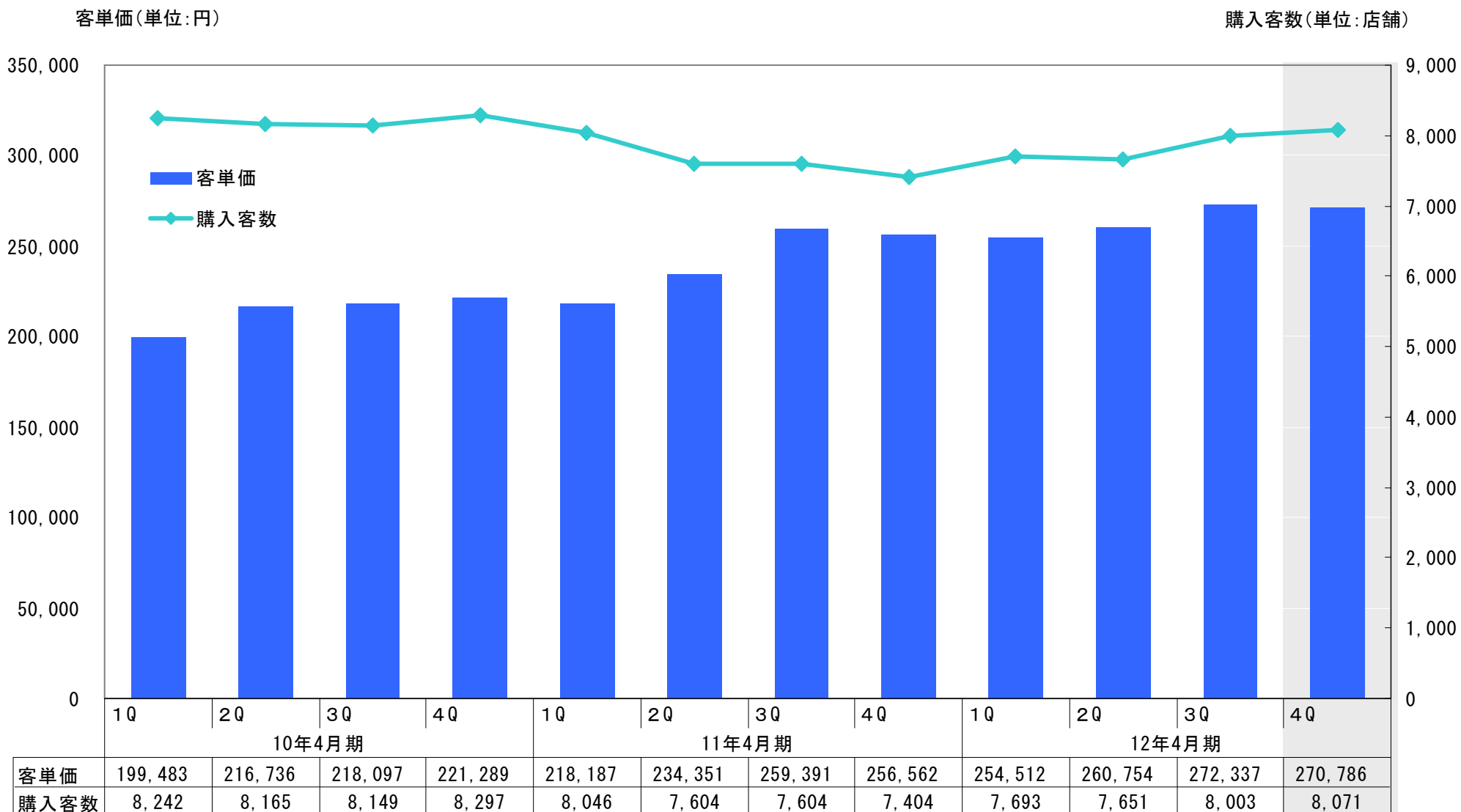
● 利便性の高い「Paidカート連携サービス」導入の業務提携にも注力

『EC事業』スーパーデリバリー売上高推移

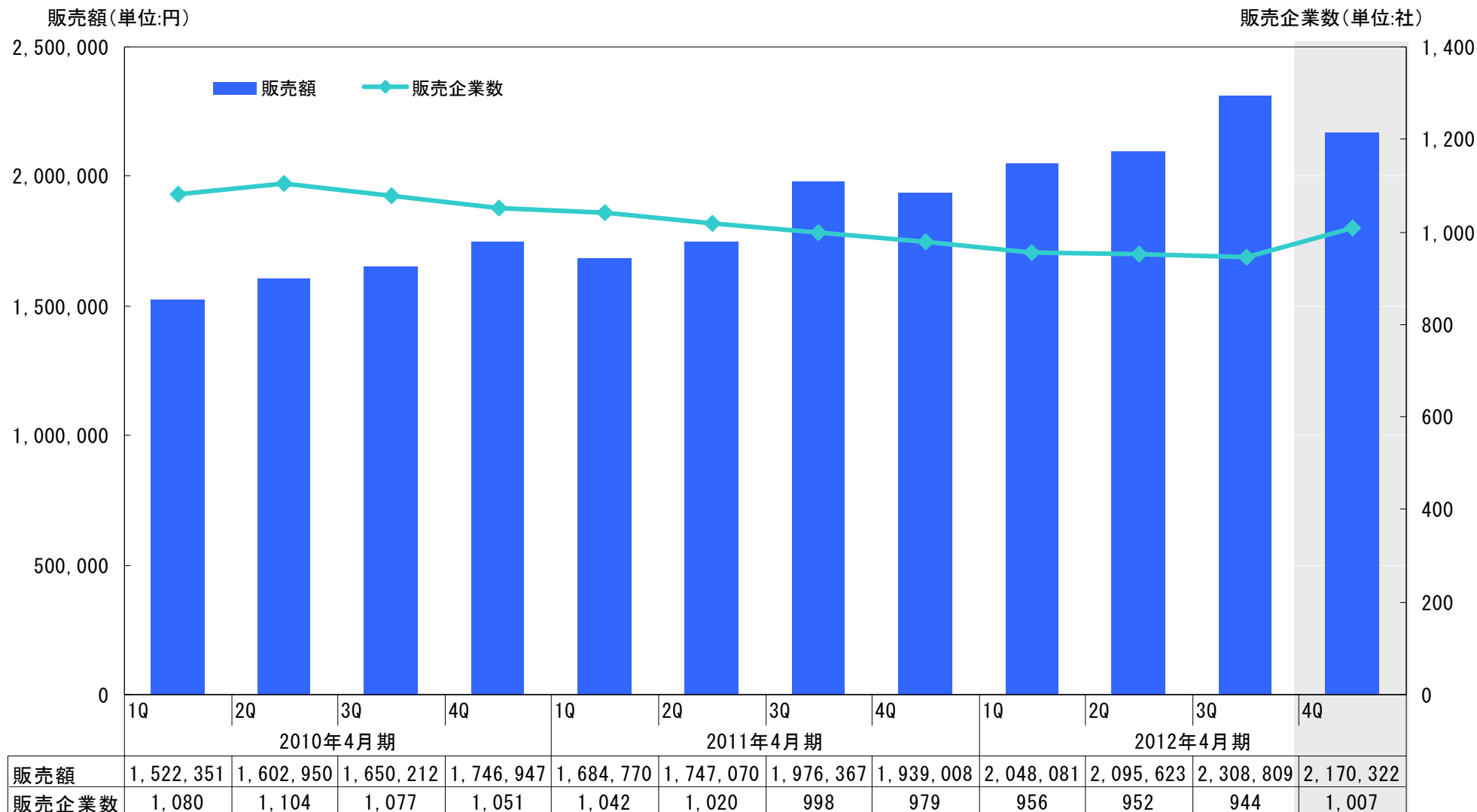


商品	1,644	1,770	1,777	1,836	1,756	1,782	1,972	1,898	1,958	1,995	2,180	2,186
会員小売店 向け売上	61	62	64	64	65	64	62	61	60	60	61	62
出展企業 向け売上	85	89	91	86	87	87	87	81	80	80	84	83
その他売上								0	2	4	7	4
TOTAL	1,790	1,921	1,932	1,986	1,907	1,933	2,121	2,041	2,100	2,139	2,332	2,334

『EC事業』スーパーデリバリー購入客数と客単価推移



『EC事業』スーパーデリバリー販売企業数と販売額推移



『売掛債権保証事業』2012年4月期サマリー

売掛債権保証事業

売上高	292,764千円
セグメント利益	30,486千円

- 人員の増加による営業力の強化

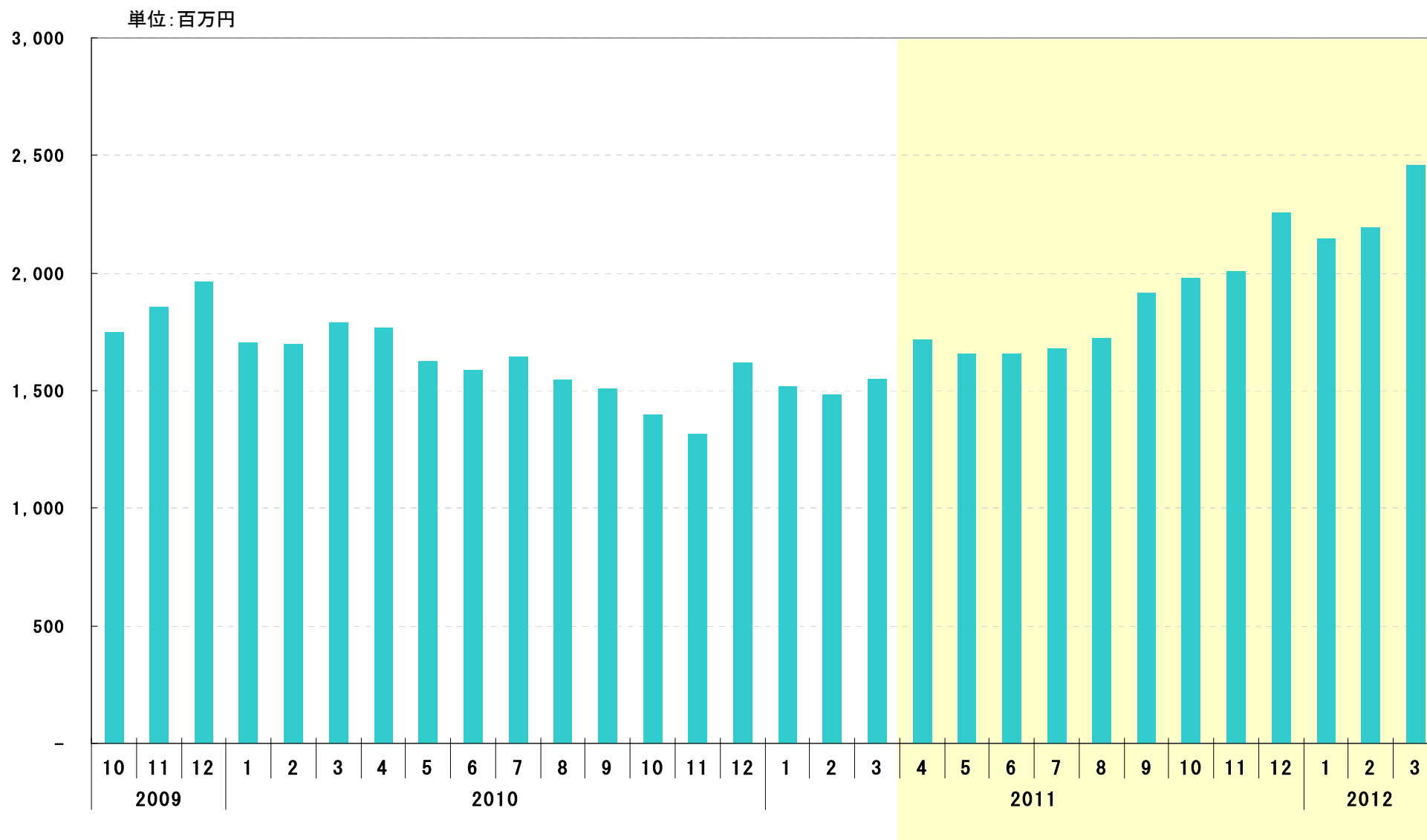
2011年10月より開設した大阪支社を拠点とした営業活動も順調

→プラス要因となり、新規契約件数は堅調に増加

- あいおいニッセイ同和損害保険会社と再保証の保険契約

→再保証の積極的な活用により、引き受ける保証金額が順調に拡大

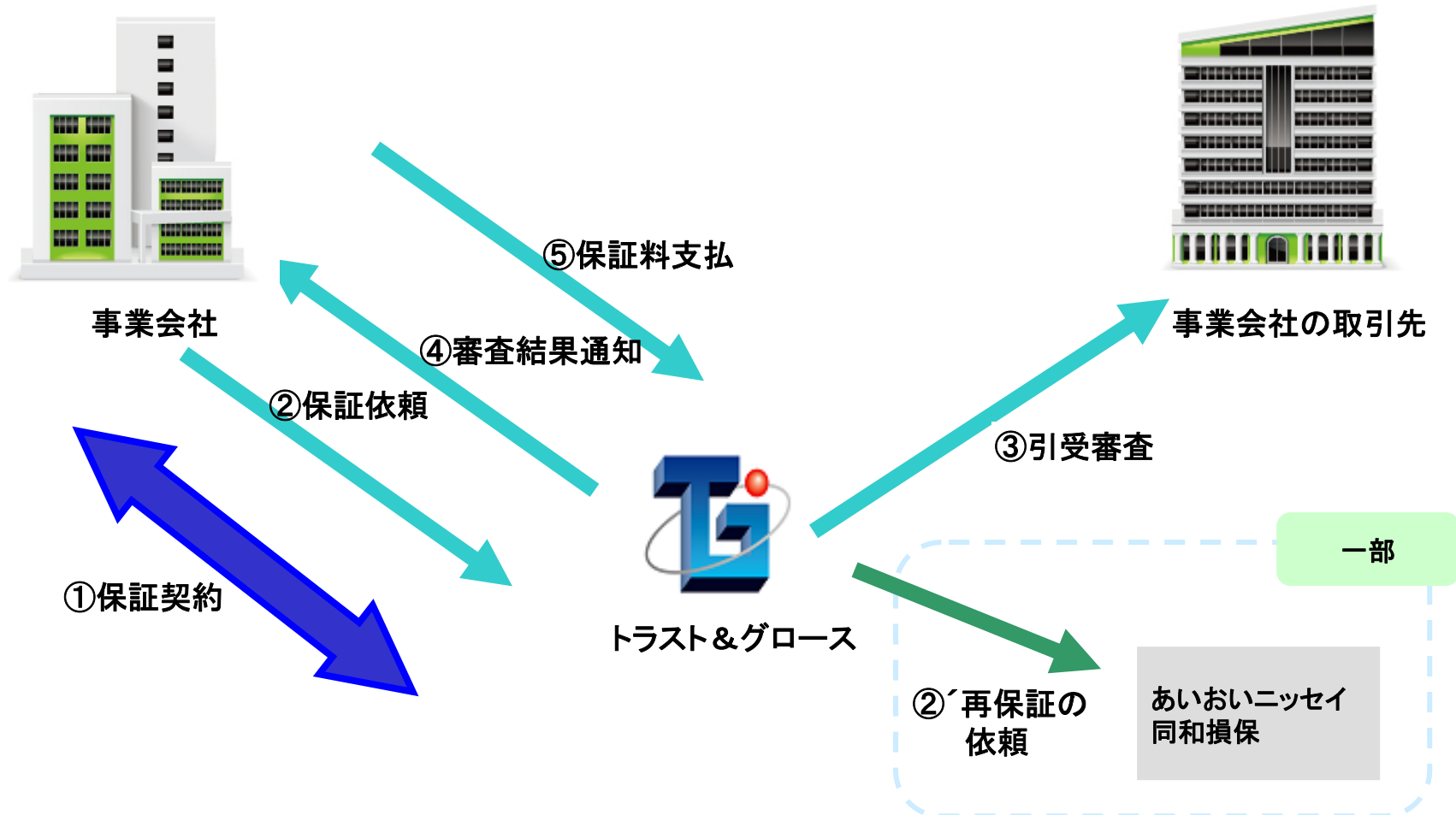
『売掛債権保証事業』・・・保証残高推移



※2010年11月30日付けで、子会社化したことに伴い2010年12月の数値より連結決算に取り込んでいます。

『売掛債権保証事業』(参考)ビジネスモデル①

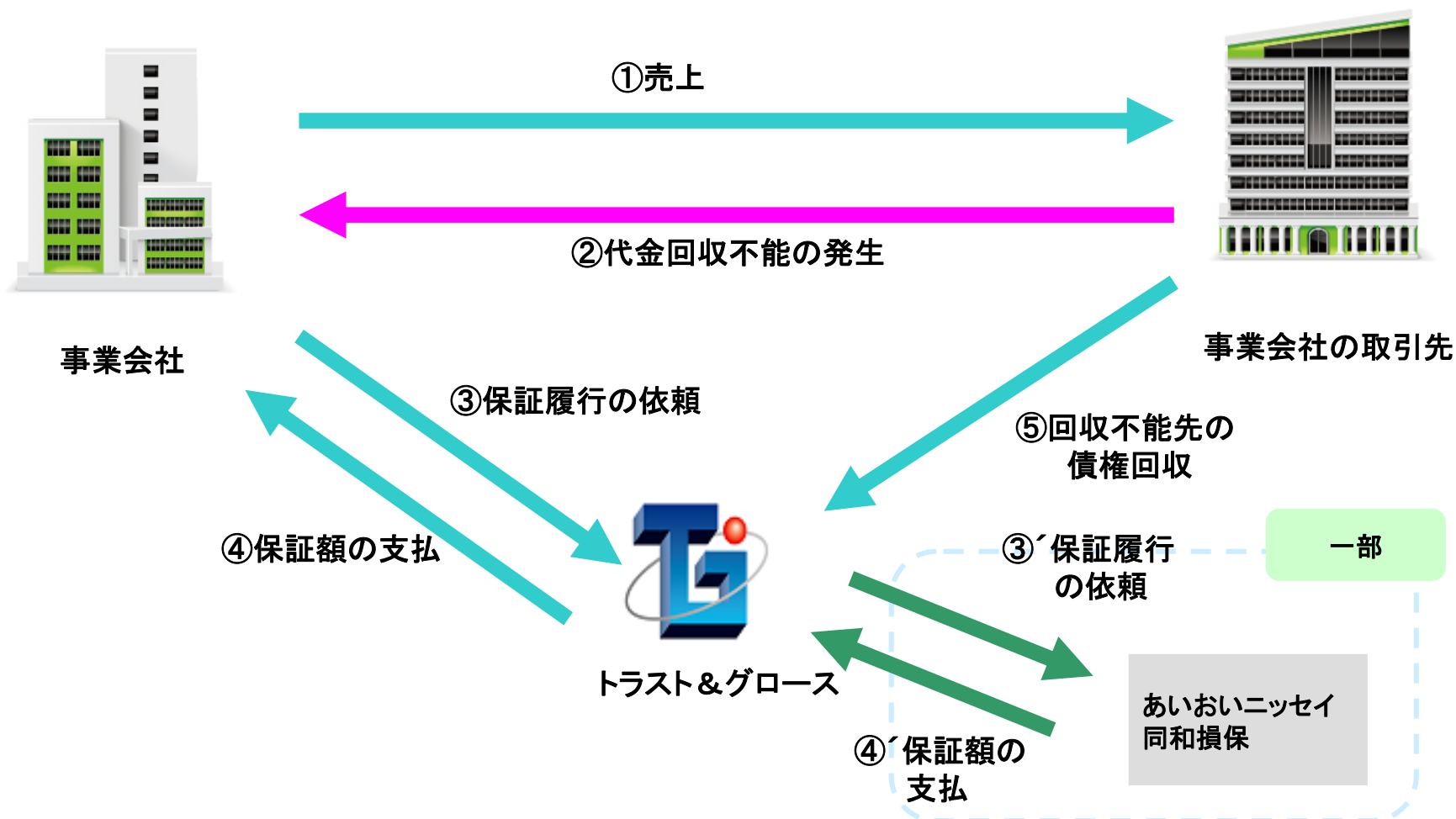
売掛債権保証とは売掛債権を保証し、万が一取引先が支払不能になった場合に、あらかじめ設定した保証金額をお支払いするサービスです。



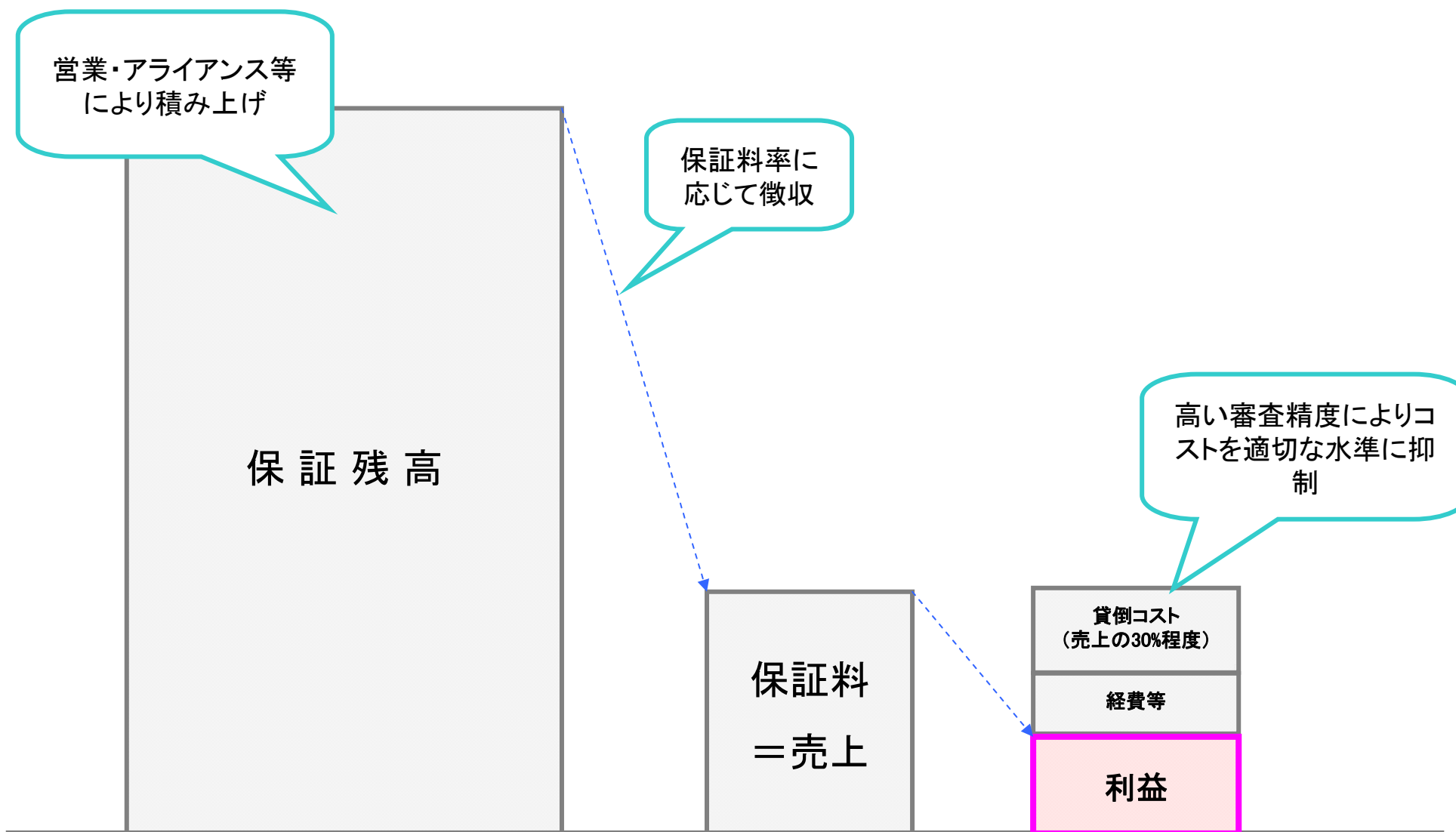
※取引発生の前に、あらかじめ保証契約を締結している事業会社の取引先の審査を行います。

『売掛債権保証事業』(参考)ビジネスモデル②

サービスを利用することで、取引先の与信リスクを気にせず取引を行うことが可能になります。

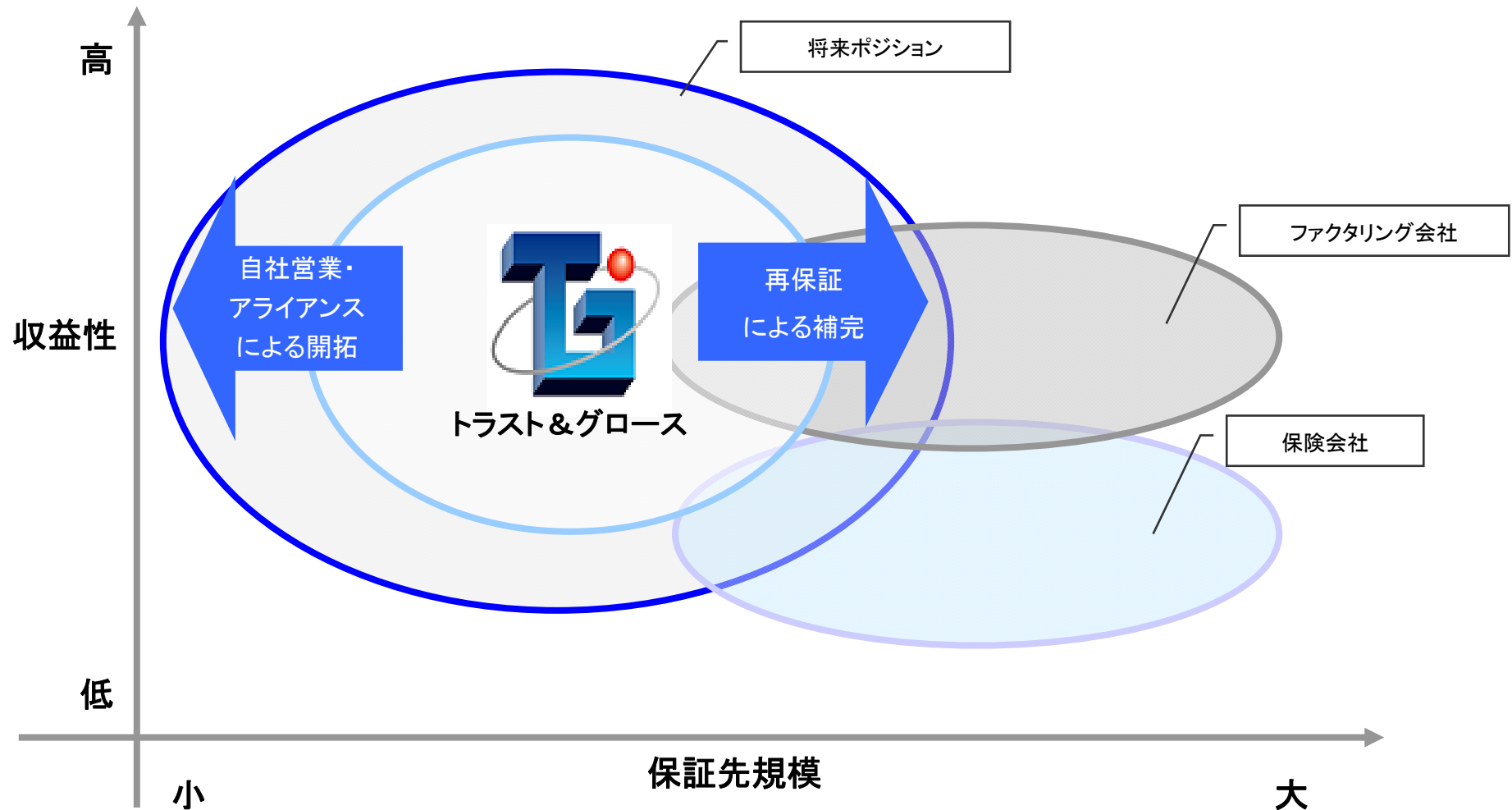


『売掛債権保証事業』(参考)収益構造



『売掛債権保証事業』(参考)ポジショニング

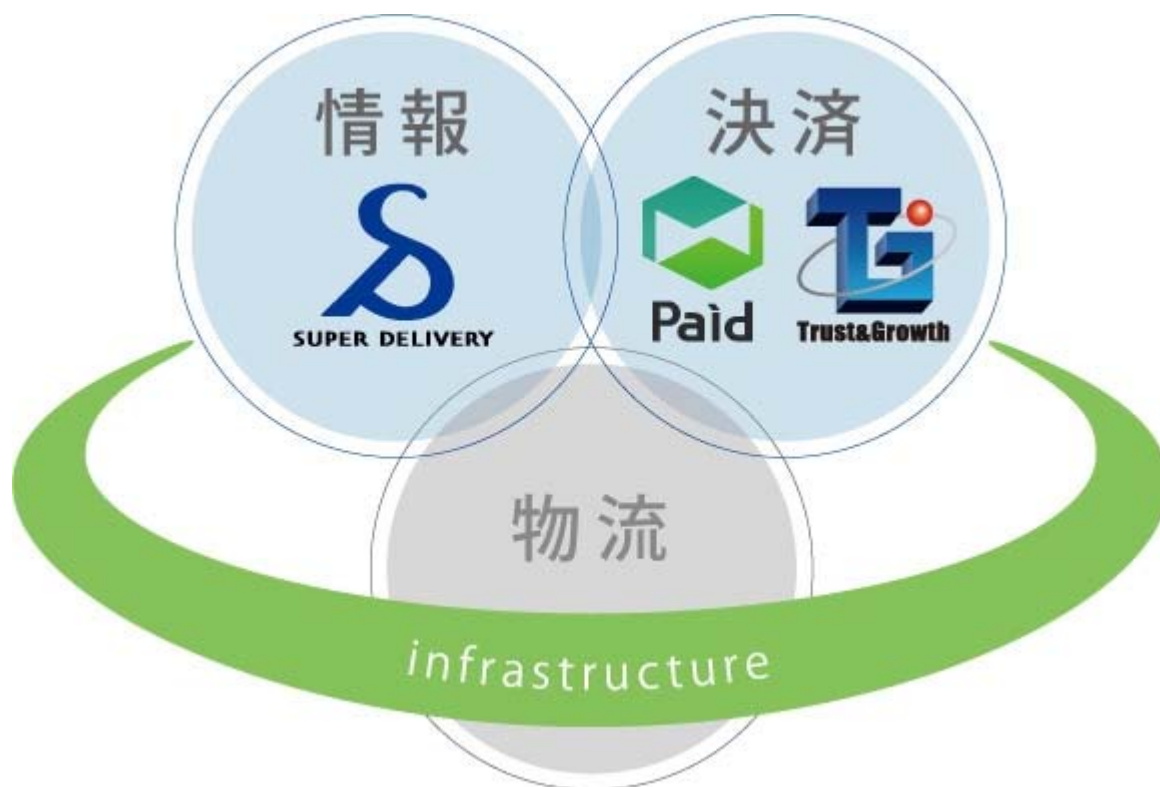
中小企業に対する売掛債権保証を強みとしていますが、①営業力強化、②与信ノウハウの継続的な蓄積、③リスク移転手法の確立によりマーケットポジションを拡大していきます。



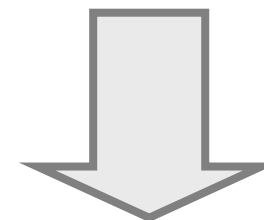
2013年4月期について

「利便性・専門性・先進性を追求した今までにない企業間取引のインフラを創造する」ことをグループビジョンとして掲げ活動していきます。

■ 当社グループが考える企業間取引を行うために必要な機能



グループで情報と決済分野でのインフラ創造を実施



それぞれのサービスは相乗効果を持って拡大し、企業間取引に欠かせない存在へ

2012年4月期

2012年1月下旬に会員小売店の属性ごとに掲載されている商品が異なる表示となるようリニューアル



(リニューアルによる効果)

- 店舗に合った商品を優先的に表示し、これまで見つからなかった相手と取引が実現。
- 異なるニーズの小売店に個別の提案が可能になり、幅広い小売店に活用してもらうことが可能に。

2013年4月期

属性ごとの充実したサービス提供に注力します。

会員属性ごとに
MDの設置



MDが、SDに足りない企業・ブランドを調査、顕在化

企業の獲得

会員小売店が買いたい商品が充実

客単価・稼働率・購入客数の向上へ

スマートフォンの急速な普及に伴いスマートフォンからのアクセス増加していることから、スマートフォンに対応した「スーパーデリバリー」の提供に取り組めます。



トップページ(イメージ)



商品詳細ページ(イメージ)

会員小売店が「スムーズかつ機動的」に商品仕入れが出来る環境の構築へ

今期以降、スーパーデリバリーは多数のメーカーと小売店の集まるプラットフォームとして、外部サービスとの連携に長期的に取り組めます。



仕入以外のサービスとの連動性を強化し、スーパーデリバリーの利便性を高めていきます。

積極的な広告掲載や業務提携、人員増加による営業力強化により事業規模の拡大に努めます。



- ①知名度の向上
- ②加盟企業とPaidメンバーの獲得
- ③「Paidカート連携サービス」の導入推進

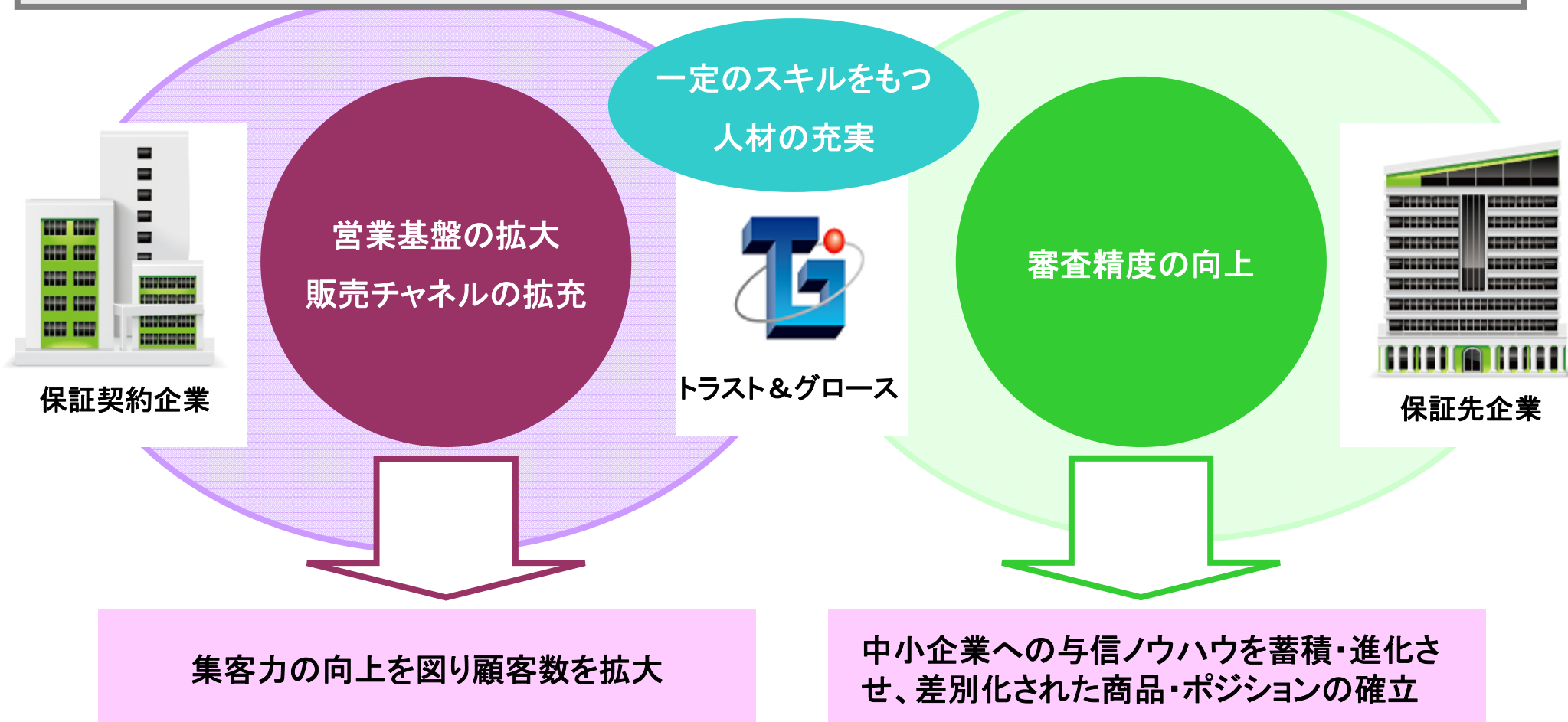
※お支払方法	<input type="radio"/> 銀行振込(前払い)
	<input type="radio"/> 商品代引
	<input type="radio"/> クレジットカード
	<input type="radio"/> Paid (請求後払い)

(カート連携サービス導入事例)

The screenshot shows the 'データ入稿方法' (Data Submission Method) section of the PrintBiz website. The 'データ入稿方法' (Data Submission Method) section includes options for Web, FTP, Email, and Mail. The 'お支払方法' (Payment Method) section includes options for Bank Transfer, Merchandise Invoice, Credit Card, and Paid (Request after payment). The 'Paid (請求後払い)' option is highlighted with a green dashed circle, and a green arrow points from this option to the corresponding option in the inset form above.

売掛債権保証事業について

保証残高を拡大することで、保証料収入を増加させ事業拡大に取り組む一方で、審査精度の向上に取り組んでいきます。



2013年4月期について

業績予想について

(単位:百万円)

	2013年4月期 (予想)	2012年4月期 (実績)	対前期比
売上高	10,000 ~10,300	9,101	9.9 ~13.2
営業利益	160 ~170	140	14.3 ~21.4
経常利益	150 ~160	133	12.8 ~20.3
当期純利益	110 ~120	109	0.9 ~10.1
1株当たり 当期純利益(円)	6,056.60円 ~6,607.20円	6,055.54円	0.0 ~0.9

●Paid、売掛債権保証事業に対する投資●

両事業はビジネスの初期段階であることから、2013年4月期も、人材採用や集客のための広告宣伝費及び利便性向上のためのシステム開発コスト等の先行投資を積極的に実施していく方針です。